

中和地区3市1町障害者自立支援協議会
令和4年度 第2回こども部会 議事録

開催日時 令和4年8月19日(金) 10:00~

開催場所 葛城市福祉総合ステーション2階会議室

【配布資料】

- ・次第
- ・研修会資料『医療的ケア児について』・『あいでる～むにおける看護師の役割』
- ・研修会アンケート
- ・第1回こども部会での質問の回答及び関連資料

【出席者】 ※敬称略

江口(香芝市社協)、高橋(葛城市社協)、秋本(ふわら)、大竹(もちつもたれつ)、
小島・谷本(葛城育成会)、江口・東田(葛城市こども・若者サポートセンター)、高原(大淀養
護学校)、村上(西和養護学校)、横山(大和高田市)、富家(香芝市)、佐師(広陵町)、
岡田・室田・西川・駒井(葛城市)

① 重症心身障がい児デイサービスあいでる～む研修会

『医療的ケア児について』・『あいでる～むにおける看護師の役割』

講師：株式会社アイデル 代表取締役/作業療法士 吉川 景一郎 様

令和3年に『医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律(医療的ケア児支援法)』が
施行されたことにより、医療的ケア児についての理解を深めるため、こども部会において研修
会を開催しました。

部会員が医ケア児について知りたいこと、あいでる～むについて聞きたいことを事前に募り、
研修会で詳しく答えていただきました。また、施設内の様子、イベントの様子、あいでる～む
での取組や工夫について写真を交えて紹介していただきました。

【研修会アンケートより一部抜粋】

■研修会で心に残ったキーワードは？

「チームで関わる」「小さな変化を見逃さない」「きょうだい児のケア」、
「地域で支える」「ケース会議の重要性」等

■研修会の感想

- ・『安心して楽しく、こどもらしく、主体的に、いきいきと』子どもも親も支援者も過ごせ
るような場と時間を作っておられることがよくわかった。
- ・社会の変化とともに進化し続けるアイデルさんであることがわかった。
- ・障がい福祉に関しては、『知ること』が大事と言われているが、第一線で活躍されている
方の話は非常に説得力があった。
- ・医療的ケア児が地域で生活していくにはまだまだ課題が多いが、関係機関が同じ方向を
見て考えることで、地域での生活を支援できると感じた。等

多くの医療的ケア児とご家族と深く関わり、活躍されている吉川様のお話は、非常に勉強になりました。研修会で学んだことを、部会員それぞれの立場で今後の業務に活かしていきたいと思います。また、今後も研修会の機会を設けていきたいと思います。

② 第1回こども部会における質問の回答

- (1) 重症心身障害児が、重心事業所と非重心事業所の両方を併用することは可能か。
- (2) 重心事業所、非重心事業所における医療的ケア児の取扱いと報酬について
- (3) 放課後等デイサービスによる不登校の子どもへの支援及び報酬について

関連資料を配布し、事務局より回答しました。

●第3回こども部会

令和4年10月21日（金） 10：00～ 葛城市福祉総合ステーション2階会議室